

1995年5月

リコー初のデジタルカメラ「リコー DC-1」を発売

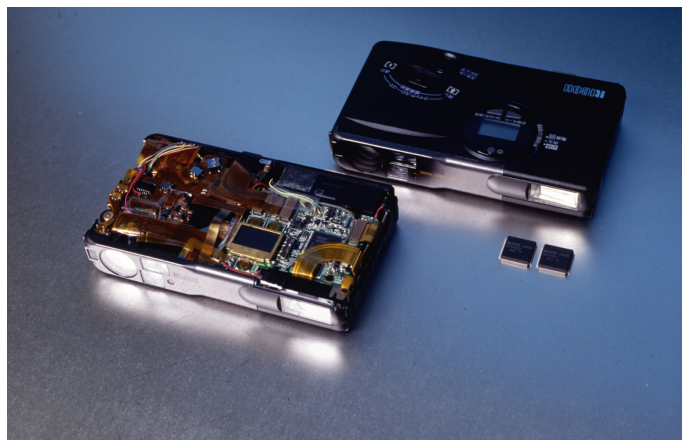
イメージ情報とデータ情報の一元的な処理を目指し開発されたリコー独自のOAシステムであるIPS(画像処理融合技術)を搭載した「リコーDC-1」は、新たにデジタルカメラ市場を開拓した一台でした。シャツのポケットに入るサイズ。そこにズーム、通信機能、音声付き動画録画など現在のデジタルカメラでは常識となった機能を搭載。PCへのデータ取り込みを前提にするため、専用のアプリケーションや画像を記録するメディアも独自に開発されました。



リコー DC-1 (1995年)



記録媒体として PC カードを採用



集積化を図り小型・軽量化に成功